

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日			
ハッピーテラス吹田教室		2026年3月19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・活動に応じて設備（机）などの移動が行える ・基準以上の広さを確保しています ・個別療育はパーティションを用い、広さを調整しています	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	58%	42%	・外出時などの対応を含めて人員配置は心がけている ・常時3～4名の指導員を配置しています	・これまで以上にスタッフ全員で連携し、お子様が安心して過ごせる環境を作っています
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・段差など無し	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・清掃時間の設定を含め、定期的な清掃を行っている ・壁など穴が開いた状況ですが、修繕済みです。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・状況により部屋の移動などの促しを行っている ・静養室を設けています	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・書き出しでの確認を行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・アンケート集計などを定期的に行っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	・活動確認と共に行っている	スタッフ間でも共有を図ります
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	・定期的に本部からの担当事業内容の確認あります	スタッフ間でも共有を図ります
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・外部研修などの参加をしています	
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・その日に利用されるお子様に合わせた支援プログラムを作成しています ・プログラム内容もHP上に公表しています	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・モニタリング後に行っています ・契約時、ご利用毎に保護者と直接話す機会をもち、定期的にニーズ、現状の課題等をお聞きして分析を行い、計画の策定を行っています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・支援計画変更の前に会議を行っています	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・活動計画の共有を行っています ・管理システム、書庫にて紙面でも保管しており、常に確認できるようになっています	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・モニタリング時に行っています	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・保護者の要望、本人の状況などを鑑みて計画の立案をしています	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・担当者立案後に会議で調整を行っています	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・独自のプログラム内容から日替わりで選択して行っている ・活動プログラムは原則毎日変更し、固定化しないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・当日の様子などにもより、臨機応変に行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・席次などを含めて確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	44%	56%	・特記事項以外は翌日の確認の際にまとめて行っている	・パートスタッフも支援の振り返りに参加をし、共有をします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・保護者向けの連絡と共に行っている ・管理システムに記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・2か月前から保護者との日程の調整をし、定期的に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		・日々の活動に取り入れている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・高学年には活動内での担当などを含め確認作業を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・定期的に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・保護者の希望次第で定期的に行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・保護者からの連絡以外でも急遽対応が出来る体制を整えている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		100%		ご家族のご意向を踏まえながら検討していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		・移行先の事業所の希望ごとに対応しています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	42%	58%	・事業所間会議の際に行っている ・地域の研修に積極的に参加をしています	今後も地域の研修に積極的に参加をしていきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		ご家族のご意向を踏まえながら検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	28%	72%	・担当者ごとの参加している	積極的に参加をしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時に保護者と共有しています。 お子様一人の来所の際はサービス提供記録システムでお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100%	・ペアレントトレーニング未研修（申し込み落選の為、研修の参加が出来ず）	事業所が主催の保護者会等は実施していませんが、今後ニーズを聞き取りながら検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・利用者ごとに行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・モニタリング以外でも随時ご意見を含めた保護者の意見確認の時間をも受けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・モニタリング時に行っている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・電話対応など含め、随時おこなっている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		・保護者向けの参観行事などを取り入れている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・事例が発生した際には早急な対応を心掛けている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・SNSや印刷物にて日々の活動のやイベントの様子をお知らせしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・社外への持ち出し禁止などを徹底している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・状況によって担当者を変更して都度の対応を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%			・感染症の流行後は控えている状態 ・ご家族のご意向を踏まえながら検討していきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・定期的にマニュアルの確認を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・防災週間に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・アセスメント時に行っている ・保護者の希望次第で薬を飲んだ時間の報告なども行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・保護者への確認を徹底している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・訓練確認と共に行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・契約時に詳細確認を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・事例発生の際には報告ごの改善策会議を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・定期的な研修あり	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	100%		・定期的な研修あり	
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・契約時にご説明しています。 ・とっさの危険時対応の場合でも保護者への報告をしている		